

地

元

密

着

通

信



Jimoto mitchaku
tsushin

各地区通信員のみなさんから届いた地元のできごとを紹介します！

あなたの地区ではどんなできごとがあったでしょう。ぜひチェックしてみてください！

仁

井町自治会
菅野 喜好 通信員



総会とグラウンドゴルフ

4

月6日、仁井町会館にて自治会及び町内会の総会を26名の出席で開催しました。総会では、令和7年度の事業計画・予算・役員などが承認されました。主な事業は、八坂稲荷神社の夏祭り、春と秋のハイキング、館ノ山整備活動などです。

また、11日には、仁井町寿クラブのグラウンドゴルフ部会が開始しました。有志の土地を借り、2トントラック20台分の砂を敷詰めた長さ50mのコースが完成したため、打ち始めを和気あいあいと行いました。部員に目標を聞くと「国際大会の選手」だということでした。



右 グラウンドゴルフの様子。下 総会への参加、お疲れ様でした！



福

沢自治会
菅野 奈美子 通信員



福沢羽山の山開き

5

月3日『第21回福沢羽山の山開き』が開催され、先着200名に登山記念品、紅白餅や手作りの力作の缶バッチ、花苗を進呈しました。

『今日は最高の天気になり、山開きは大成功だない』との会話通り、羽山の森美術館駐車場には約300名の登山者が来場しました。開会式では、羽山太鼓演奏と安全祈願祭が行われ、高橋自治会長や神野福沢羽山を愛する会長挨拶、来賓祝辞があり登山開始です。頂上イベントでは、大声コンテストやお楽しみ抽選会、おもてなし会場では、眺望が良い場所での豚汁の振舞いもあり、やはり里山最高ですね。



五月晴れの中、安全祈願祭を行い今シーズンの登山者の無事を皆さんで祈りました！

飯

坂自治会
佐藤 秀夫 通信員

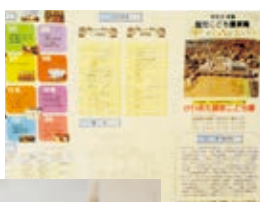


民生・児童委員飯坂支部

飯

坂の人口1,119人、世帯数にして490世帯ですが、そのうち一人暮らし高齢者を含む高齢世帯44世帯の相談や見守り活動を民生・児童委員5名とふれあい委員8名で行っています。今年度、飯坂支部の研修は『かわまた認定こども園』の訪問視察をしました。園の位置づけは、学校教育の前哨戦として共同生活の導き、自立のサポート、自己と自尊心の人格形成です。園が目指す取組みを実際に見聞きし、現場の知られざる事、素晴らしさを改めて知りました。

困りごとなどの相談は、お近くの民生・児童委員までお気軽にどうぞ。



地域福祉の担い手として活動しています。よろしくお願いします！



大

網木自治会

齋藤 信夫 通信員



山開き前大整備作業

4

月20日、□太山の山開き前に愛好会メンバー16名が集まり、□

太山登山口駐車場からキャンプ場までの約400m間の林道整備作業を実施しました。

林道は粘土質で幅も狭い上に急傾斜の区間も長く、雨水等の影響もあり轍が深くなっていました。一般車両でキャンプ場までの走行は困難で長く課題となっていました。川俣町の理解と協力を得て碎石が準備され、地元有志による作業機械の応援もあり、3時間の作業で完成しました。愛好会の方によると、今年は倒木が多いので、安全優先で楽しんで欲しいそうです。



轍に碎石を運び上げ、ジョレンやレーキを使っている手作業です！



中

中央自治会

藤野 由紀子 通信員



不動の桜

4

月に入っても寒い日が続いた今年の桜は、開花が遅れ気味で、初旬でも咲き始めといった程度。

天気の良い朝中央公園を散策すると、あちらこちらから鳥のさえずりが聞こえ、桜の蕾には温かな陽射しがあたって開花を促しているようでした。満開の桜が待ち遠しいひととき。

春は旅立ちの時期でもあり、移り変わっていく環境に時の流れを感じます。一緒に桜を愛でる人が変わる中、新生活に心躍らせる方も多いでしょう。中央公園の桜は毎年咲き誇り、皆さんを見守ってくれることと思います。



「きぼうの桜」。小手姫像の近くで見ることができます。



小

島自治会

落合 幸男 通信員



長寿山・太郎坊山山開き

こ

れ以上ない晴天のもと、長寿山いこいの森広場において「第25

回山開き桜祭り」が開催され、町内外からの登山客で賑わいました。沿道の桜並木約250本は、麓から長寿山広場まで開花差があり、登りの桜吹雪を進んでいくと山頂は八分咲きでした。山開き実行委員会が、記念品や豚汁、つきたての餅を振舞い好評でした。その他にも焼きそば、おでん、おにぎりなどの販売もあり買い求める人が列を作っていました。

山頂の鐘つき堂までは、10分と近いので、多くの方が訪れそれぞれの思いを込めて鐘を叩いていました。



山頂ではコーヒーのサービスもあり、笑顔が溢れていました！



小

網木地区自治会

菅野 松夫 通信員



令和元年東日本台風復旧工事

令

和元年10月12日未明、積算雨量301.5mmの豪雨と共に山

裾から土石流が発生し、国道114号線まで土砂が流れ出たことにより小綱木上関場長沢地内では未曾有の大災害となりました。町内各所でも大きな被害を受け、みなさんもまだ記憶に残っていると思います。このたび、福島県北農林事務所発注により令和5年から着工していた谷止工3基、流路工37.8mの治山施設工事が、令和7年3月に完成しました。温暖化の影響なのか気候変動で、いつ起こるかかわからない災害です。命と財産を守るため、備えと行動を日頃から考えましょう！



下 完成した治山施設です。右 当時は無残な土石流災害でした。

